

千葉県議会議員

守屋 貴子

プロフィール

1968年 3月 市川市に生まれる
1974年 3月 双葉幼稚園卒園
1980年 3月 市川市立鶴指小学校卒業
1983年 3月 市川市立第八中学校卒業
1986年 3月 千葉県立市川北高等学校卒業
1988年 3月 聖徳学園短期大学(現聖徳大学短期大学部)卒業
1988年 4月 清水建設株式会社 入社
1994年11月 清水建設株式会社 退職 (結婚のため)
2007年 4月 市川市議会議員 第2位で初当選
2011年 4月 市川市議会議員 第6位で再選
2015年 4月 千葉県議会議員 第3位で初当選
特技:パークッション 趣味:太極拳 ゴスペル ソシアルダンス



T. Moriya

残暑の候、立秋とはいえ、本物の秋が待ち遠しい今日この頃、皆様いかがお過ごしですか？

日頃は、多くのご支援ご指導を賜り心から感謝を申し上げます。

さて、先の衆議院議員選挙におきまして所属していました民進党が3つの党にわかれることになり、その後、2つの党が合流をしたことを受け、7月にそれぞれの千葉県での活動拠点となる県連組織が立ち上がることになり、私達地方議員も何らかの判断をしなければならない状況になりました。

私は、これまで苦しいときも嬉しいときも私の活動をお支えいただきてきた皆様との話し合いや、市議会議員の頃から変わらず、行ってきた「草の根から地域から政治を変えるための地域活動」、そして政治家であった祖父や父が私に残し、託したいいくつかの約束、何より私の政治信条を考へ、立憲民主党に所属をして活動をしていく決意をいたしました。

多くの皆様からは、「守屋貴子は、これまでもこれからも地域のため、地元市川市、千葉県のために活動してきた。これからも守屋党として支えていく」と大変心強いエールをいただきました。

そのご支援を糧に、これからも皆様に一番近い政治家として、もっともっと皆様に寄り添い、お一人、お一人の声に耳を傾け、全身全霊で地域のため、地元市川市、千葉県のために全力をあげて活動して参ります。

引き続き、厳しくもあたたかい叱咤激励とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

千葉県議会議員 守屋貴子

法律・年金・労働・市民相談は、守屋貴子事務所へ

法律相談は弁護士が、年金相談は社会保険労務士が直接相談に応じます。

〒272-0023

市川市南八幡4丁目7番3号
本八幡グリーンプラザ402号室

TEL 047(370)0888

FAX 047(378)8881

ホームページ <http://www.koiwai.org/moriya-takako> ブログ <http://ameblo.jp/moriyatakako/>

ツイッター <http://twitter.com/moriyatakako> フェイスブック <https://www.facebook.com/takako.moriya.5>



会派の要望が県政で多く実現しています

○在宅医療の充実！

- ・地域在宅医療体制構築支援事業
- ・訪問看護ステーション整備促進事業等



目的・概要

病院から在宅医療への切れ目のない円滑な移行や安定的な在宅療養生活を継続するため、病院や患者等からの医療相談対応や、在宅医・訪問看護師などが連携し、患者をチームでサポートする体制構築などに取り組む在宅医療連携拠点の設置・運営費用に対して助成します。

主な事業

ケアマネージャー資格を保有する看護師等を「コーディネーター」として配置し、地域の在宅医や訪問看護師などが連携・協力して対応できるように調整を行う窓口である在宅医療連携拠点の設置等について助成します。

○介護人材の確保！

- ・介護人材確保対策事業等



目的・概要

介護人材の確保・定着を図るため、新規就業や離職者の再就業の促進、介護職員のキャリア形成に向けた支援、介護職員の魅力発信やシニア人材の新規参入を促す事業など、総合的な取り組みを実施します。

主な事業

介護の現場への新規就業の促進や潜在有資格者の再就業に向けた支援を行うほか、介護職員のキャリアアップに向けた支援等を行います。

○子育て環境の充実！

- ・保育士処遇改善事業
- ・子育て世代包括支援センター設置支援事業等



目的・概要

保育士の確保・定着対策を一層推進し、県内の保育環境の改善を図るため、民間保育所等の保育士給与の改善を実施します。

事業内容

県内市町村が行う保育士の処遇改善に係る事業に対して、その1/2(政令市は1/4)を補助します。職員1人につき月額2万円の補助となります。

○学校におけるいじめ・不登校対策の推進！

- ・不登校対策支援チーム事業等

目的・概要

いじめ防止や不登校支援に向けた取組を推進し、すべての児童・生徒が安心して学校生活を送ることのできる体制づくりを進めます。

主な事業

スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置を拡充します。また、不登校児童生徒のうち、長期化等で解消が困難なケースを対象に、スクールカウンセラースーパーバイザー、不登校担当指導主事等がチームを組んで、学校や市町村教育委員会を支援する不登校対策支援チームを設置します。



平成30年度予算